※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 3022 |
|---|---|

# 令和８年度　商業科

| 教科 | 商業 | 科目 | 原価計算 | 単位数 | ３単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「原価計算」　（TAC） | | | | | | |
| 副教材等 | 「全商簿記１級 原価計算　論点別 NEW ステップアップ問題集　第２版」（TAC）<br>「令和９年度版　全商簿記実務検定模擬試験問題集　１級原価計算」（実教出版） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年時で学習した「簿記」の学習内容を踏まえ工場内の帳簿組織である工業簿記の内容を学習する。教科内容では、多くの帳簿の形式を記憶することが必要であり、そのためには、反復した記帳練習が必要なため自宅学習に時間を要することになる。プリント等の課題を課すことが多くなるので、停滞なく自宅学習を進めることが重要である。

## ２　学習の到達目標

『知識及び技術』
　製造業における原価計算及び会計処理に関する知識と技術を習得させ，原価の概念について理解する。
『思考力、判断力、表現力等』
　原価計算から得られる情報を活用する能力を目標とする。単元別に個別原価計算、総合原価計算、直接原価計算、標準原価計算の内容を段階的に学習することにより知識の深度を深める。
『学びに向かう力、人間性等』
　ビジネスに携わる者として、企業活動の会計の流れを意識し、責任感をもって仕事に取り組む態度を養う。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技術 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 製造業における原価計算と工業簿記に関する基礎的・基本的な知識を身につけ，原価計算の基本的な仕組み及び工業簿記の基本構造について理解している。 | 各種の原価計算の方法や記帳法，原価情報の活用などについて，なぜ，そのように行うのかなど自ら思考を深め，基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し，表現する能力を身につけている。 | 製造業における原価計算と工業簿記に関心を持ち，その知識と技術の習得をめざして意欲的に取り組むとともに，原価計算から得られる情報を活用する態度を身につけている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 個別原価計算 | 1　原価と原価計算<br>2 原価計算のあらまし<br>3 製造業における簿記<br>4 材料費の計算と記帳<br>5 労務費の計算と記帳<br>6 経費の計算と記帳<br>7 個別原価計算<br>8　部門別個別原価計算 | a: 製造業の特徴や原価の基本的な内容について理解している。<br>材料費の分類とその内容を理解している。<br>材料の仕入，消費に関わる処理労務費、経費の分類を理解し，適切に記帳することができている。<br>部門別個別原価計算の必要性が理解でき、部門費配分表，部門費振替表を作成でき，それぞれにもとづく記帳ができている。<br>b: 工業簿記と原価計算の関係について理解し，適用される場面を思考・判断することができている。<br>予定価格により消費高を計算することの意義について思考し，予定価格を用いた二通りの記帳ができている。<br>賃金支払高の計算期間と賃金消費高の計算期間のずれについて理解し，賃金勘定と関連付けて表現することができている。<br>経費の消費高の計算において，なぜ3分類するのか，合理的な記帳法はどのようなものかについて考え，適切に判断・表現して学習を進めている。<br>原価部門の設定について部門別計算の目的から考え，各部門の役割について表現できている。<br>c: 製造業における原価計算と工業簿記に興味を示し，自ら学習しようとする態度が見られる。<br>本章の学習にあたって，自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 | 定期テスト<br>問題集<br>プリント<br>小テスト<br>授業態度 | 定期テスト<br>問題集<br>プリント<br>小テスト<br>授業態度 | 問題集<br>プリント<br>小テスト<br>授業態度 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 総合原価計算 | 9　総合原価計算<br>10　工程別総合原価計算<br>11　減損・仕損じの処理<br>12　製品の完成と販売<br>13　決算と本社・工場取引<br>14　標準原価計算（その１）<br>15　直接原価計算（その１） | a: 単純総合原価計算が用いられる製造業の特徴と手続きの流れが理解できている。<br>平均法と先入先出法による月末仕掛品原価の計算ができている。<br>等級別･組別総合原価計算が用いられる製造業の特徴としくみを理解し，等級別･組別総合原価計算表を作成できている。<br>製品の完成と販売に伴う手続きと記帳方法が理解できている。<br>工場会計の独立を理解し，記帳ができている。<br>b: 生産形態の違いから，原価計算の方法が異なることを理解し，個別原価計算と総合原価計算の違いを説明することができている。<br>財務諸表の特色を理解し，製造原価報告書の作成ができている。<br>製造業の決算の特徴を商品売買業の決算と比較して考えたり，本社工場間の取引の記帳を本支店間の取引と比較して考えることができている。<br>c: 本章の学習にあたって，自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 | 定期テスト<br>問題集<br>プリント<br>小テスト<br>授業態度 | 定期テスト<br>問題集<br>プリント<br>小テスト<br>授業態度 | 問題集<br>プリント<br>小テスト<br>授業態度 |
| 3学期 | 標準・直接原価計算 | 16　標準原価計算（その２）<br>17　直接原価計算（その２）<br>18　原価管理 | a: 標準原価計算・直接原価計算の意義と特色，手続きについて理解できている。<br>b: なぜ，原価標準を設定するのかについて理解している。直接原価計算による損益計算書の形式を理解し，作成できている。<br>c: 原価管理・利益計算について関心を持ち，意欲的に取り組む姿勢が見られる。 | 定期テスト<br>問題集<br>プリント<br>小テスト<br>授業態度 | 定期テスト<br>問題集<br>プリント<br>小テスト<br>授業態度 | 問題集<br>プリント<br>小テスト<br>授業態度 |

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度